再評価結果（平成１７年度事業継続箇所）

担　当　課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷　春敏

事業名	昭和通（しょうわどおり）	事業区分	街　路	事業主体	旭　川　市
起終点	自：北海道旭川市宮下通６丁目（ほっかいどうあさひかわしみやしたどおり） 至：北海道旭川市宮前通西（ほっかいどうあさひかわしみやまえどおりにし）			延長	０．１km

事業概要

昭和通は、北彩都あさひかわ整備計画の一環として、都市計画道路網を整備するために、旭川駅周辺の鉄道（ＪＲ函館線、ＪＲ宗谷線、ＪＲ富良野線）を高架化する事業である。

Ｈ１１年度事業化	Ｈ８年度都市計画決定	Ｈ１１年度用地着手	Ｈ１５年度工事着手

全体事業費	約２５９億円	事業進捗率	５７％	供用済延長	０．０km
計画交通量	１９，６００台／日				

費用対効果分析結果	B／C	総費用 (残事業)/(事業全体)	総便益 (残事業)/(事業全体)	基準年
	(事業全体) １．５ (残事業) ４．１	99 / 267億円 事業費：99/267億円 維持管理費：0/0億円	409 / 409億円 走行時間短縮便益：376/376億円 走行費用減少便益：22/22億円 交通事故減少便益：11/11億円	平成１７年

感度分析の結果
交通量変動　：B/C=１．７（交通量+10%）　B/C=１．４（交通量-10%）
事業費変動　：B/C=１．４（事業費+10%）　B/C=１．７（事業費-10%）
事業期間変動：B/C=１．４（事業期間+20%）B/C=１．８（事業期間-20%）

事業の効果等

・個性ある地域の形成（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する。）
・円滑なモビリティ（ＪＲ旭川駅へのアクセス向上が見込まれる）
・都市の再生（市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり）　他６項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

市内方向の交通混雑や旭川駅周辺の旧国鉄未利用地の有効活用など都市の活性化が望まれており、地方自治体や住民からも事業の早期完成が要望されている。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

北彩都あさひかわ整備計画の一環である土地区画整理事業についても予定通り進捗しており、地区内の公共施設や住居整備も順調であり、都市機能の充実、北北海道の中心都市の拠点形成が進んでいる。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成１５年に運転所の移転を完了し、引き続き高架橋本体工事に着手している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

当初の計画通り、平成１５年の運転所の移転を完了し、引き続き高架橋本体工事を順調に進めており、事業進捗に影響を与える重大な懸案事項も無いことから、平成２３年度の事業完成を予定している。

施設の構造や工法の変更等

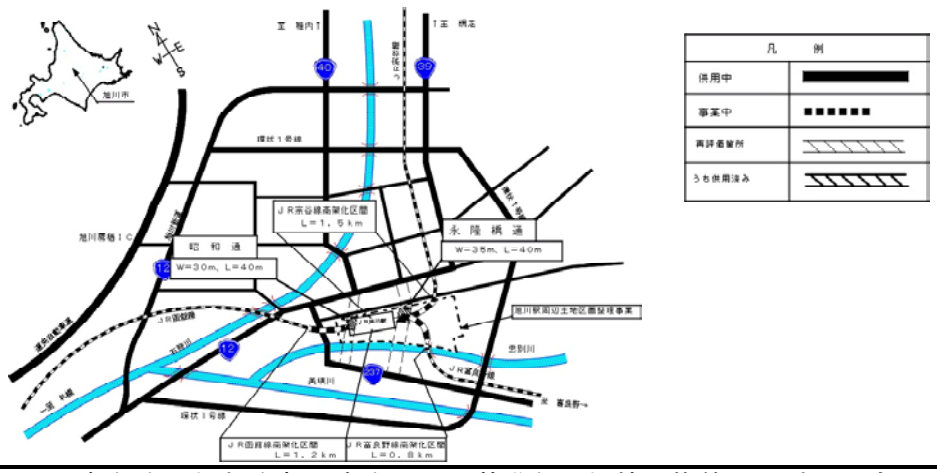
建設発生土の事業間流用を行いコストの縮減を図っている。

対応方針　事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。